

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国語表現演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	53			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	大学生のための日本語表現トレーニング 実践編：福島健伸（他）：三省堂：9784385363264						
担当教員	田貝 和子						
到達目標							
☐ 自分自身あるいは人のことについて具体的に話すことができる。 ☐ 自己分析ができ、エントリーシート等に反映することができる。 ☐ メール、手紙等の書式とマナーを理解し表現することができる。 ☐ パワーポイント等で効果的な視覚資料を作成することができる。 ☐ 効果的なプレゼンテーションを行うことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		自己分析ができ、エントリーシート等に反映することが十分にできる。		自己分析ができ、エントリーシート等に反映することができる。		自己分析ができ、エントリーシート等に反映することができない。	
評価項目2		メール、手紙等の書式とマナーを理解し表現することが十分にできる。		メール、手紙等の書式とマナーを理解し表現することができる。		メール、手紙等の書式とマナーを理解し表現することができない。	
評価項目3		効果的な視覚資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことが十分にできる。		効果的な視覚資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		効果的な視覚資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	生活上必要不可欠な日本語の知識と表現力、実用的な文章表現、また口頭表現の向上を目指す。						
授業の進め方・方法	演習形式で行う。教科書のトレーニングシートを用いた作業、あるいは、発表を行う。						
注意点	本科目は学修単位なので、授業時間30時間に加え、各自自習時間15時間が授業の前後に必要となります。毎回授業時間内に何かしらの文章を書いてもらい評価の対象とします。このため欠席をしないようにしてください。教科書の該当ページが無い場合は、減点します。教科書は新品を購入してください。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		授業の概要を述べ、意義と目的について説明する。		
		2週	口頭表現		印象の良い話し方を身につける。		
		3週	紹介・説明 1		自分のことを具体的に話す。		
		4週	紹介・説明 2		自分のことを具体的に話す。		
		5週	自己 P R		効果的な面接のコツを学ぶ。		
		6週	自己分析		エントリーシートを作成する。		
		7週	お伺い・依頼		段取りを考え適切なタイミングでやりとりする。		
		8週	書式・依頼		依頼メールの基本を身につける。		
	4thQ	9週	敬語・伝言		電話対応マナーを身につける。		
		10週	相手への配慮		上手な意見交換の方法を身につける。		
		11週	視覚資料		効果的なスライドを作成する。		
		12週	レジュメ・アウトライン 1		効果的なプレゼンテーションを行う。		
		13週	レジュメ・アウトライン 2		効果的なプレゼンテーションを行う。		
		14週	レジュメ・アウトライン 3		効果的なプレゼンテーションを行う。		
		15週	レジュメ・アウトライン 4		効果的なプレゼンテーションを行う。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	20	0	0	60	100
基礎的能力	0	20	20	0	0	60	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0